

ESMFSService

本サービスはファイルシステム(論理ドライブ)の構成、空き容量監視を行います。
 本サービスに関するアラートが発生した際には、ファイルシステムの空き容量等を確認してください。

イベントビューア				アラートビューア				通報先(デフォルト)		その他	SNMP Trap OID	
イベントID	イベントID(16進)	種類	説明	概要(トラップ名)	詳細	対処	状態色	マネージャ	エクスプレス通報	備考	Enterprise ID	Specific ID
1000	C00403E8	異常	ファイルシステムの空き容量が“異常”レベルのしきい値よりも少なくなりました。 ファイルシステム : %1 (Index %2) 空き容量/全容量 : %3 / %4 MB しきい値(異常) : %5 MB	ファイルシステム空き容量:異常	ファイルシステムの空き容量が“異常”レベルのしきい値よりも少なくなりました。 ファイルシステム : %1 (Index %2) 空き容量/全容量 : %3 / %4 MB しきい値(異常) : %5 MB	不要なファイルなどを削除するか、別のファイルシステムにファイルを移動するなどの手段により、空き容量を確保してください。ファイルシステムの空き容量監視のしきい値が適切でない場合は、しきい値をご利用のシステムに最適な値に変更してください。	赤	○	×	不要なファイルなどを削除するか、別のファイルシステムにファイルを移動するなどの手段により、空き容量を確保してください。ファイルシステムの空き容量監視のしきい値が適切でない場合は、しきい値をご利用のシステムに最適な値に変更してください。	.1.3.6.1.4.1.1.19.2.2.4.4.18.3	4
1001	800403E9	警告	ファイルシステムの空き容量が“警告”レベルのしきい値よりも少なくなりました。 ファイルシステム : %1 (Index %2) 空き容量/全容量 : %3 / %4 MB しきい値(警告) : %5 MB	ファイルシステム空き容量:警告	ファイルシステムの空き容量が“警告”レベルのしきい値よりも少なくなりました。 ファイルシステム : %1 (Index %2) 空き容量/全容量 : %3 / %4 MB しきい値(警告) : %5 MB	不要なファイルなどを削除するか、別のファイルシステムにファイルを移動するなどの手段により、空き容量を確保してください。ファイルシステムの空き容量監視のしきい値が適切でない場合は、しきい値をご利用のシステムに最適な値に変更してください。	黄	○	×	不要なファイルなどを削除するか、別のファイルシステムにファイルを移動するなどの手段により、空き容量を確保してください。ファイルシステムの空き容量監視のしきい値が適切でない場合は、しきい値をご利用のシステムに最適な値に変更してください。	.1.3.6.1.4.1.1.19.2.2.4.4.18.3	3
1002	400403EA	正常	ファイルシステムの空き容量が“正常”レベルに戻りました。 ファイルシステム : %1 (Index %2) 空き容量/全容量 : %3 / %4 MB	ファイルシステム空き容量:正常	ファイルシステムの空き容量が“正常”レベルに戻りました。 ファイルシステム : %1 (Index %2) 空き容量/全容量 : %3 / %4 MB	-	緑	○	×	-	.1.3.6.1.4.1.1.19.2.2.4.4.18.3	2
8201	C0042009	異常	ESMFSServiceが停止しました。一時的なシステム負荷などにより監視に失敗した可能性があるためサービスを再起動してください。再起動後も同じイベントが登録される場合、障害情報採取ツールで情報採取して保守員にご連絡ください。 エラーコード : (%1, %2, %3)	-	ESMFSServiceが停止しました。一時的なシステム負荷などにより監視に失敗した可能性があるためサービスを再起動してください。再起動後も同じイベントが登録される場合、障害情報採取ツールで情報採取して保守員にご連絡ください。 エラーコード : (%1, %2, %3)	-	-	-	-	-	-	-
8202	4004200A	正常	ESMFSServiceで一時的に監視に失敗しましたが監視を継続します。同じイベントが頻繁に登録される場合、障害情報採取ツールで情報採取して保守員にご連絡ください。 詳細コード : (%1, %2, %3)	-	ESMFSServiceで一時的に監視に失敗しましたが監視を継続します。同じイベントが頻繁に登録される場合、障害情報採取ツールで情報採取して保守員にご連絡ください。 詳細コード : (%1, %2, %3)	-	-	-	-	-	-	-
8203	8004200B	警告	ESMFSServiceの設定に失敗しました。サービスを再起動して、再度設定してください。再設定後も同じイベントが登録される場合、障害情報採取ツールで情報採取して保守員にご連絡ください。 エラーコード : (%1, %2, %3)	-	ESMFSServiceの設定に失敗しました。サービスを再起動して、再度設定してください。再設定後も同じイベントが登録される場合、障害情報採取ツールで情報採取して保守員にご連絡ください。 エラーコード : (%1, %2, %3)	-	-	-	-	-	-	-

ESMCommonService

本サービスは、複数の監視サービスで構成されています。

ESMCommonService

サービス本体で検出するイベントを処理します。
 通報時のイベントログのソース名は、“ESMCommonService”で登録されます。

CPU負荷監視

定期的にシステムのパフォーマンス情報を取得し、CPU負荷率に関する通報を行います。
 通報時のイベントログのソース名は、“ESMCpuPerf”で登録されます。

ローカルポーリング

データビューアで未サポートの任意の項目の監視を行います。
 設定された情報に基づいて、しきい値を設定/サーバ状態色の反映/アラートの発生などができますが、設定には専門的な知識と監視対象項目のMIB の情報が必要となります。
 通報時のイベントログのソース名は、“ESMLocalPolling”で登録されます。

イベントソース [ESMCommonService]

イベントビューア				アラートビューア				通報先(デフォルト)		その他	SNMP Trap OID	
イベントID	イベントID(16進数)	種類	説明	概要	詳細	対処	状態色	マネージャ	エクスプレス通報	備考	Enterprise ID	Specific ID
911	8000038F	警告	マネージャからシャットダウン/リブート要求がありました。	シャットダウン要求	マネージャからシャットダウン/リブート要求がありました。		-	×	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.15.3	1
9101	C000238D	異常	Common Service内でエラーが発生しました。 「 %1 %2 」	-	-	-	-	-	-	ESMCommonServiceで何らかのエラーが発生したため、いくつかの監視項目が監視できない可能性があります。サービスを再起動してください。同じメッセージが表示される場合、Collect.exeで情報を採取しシステム管理者にご連絡ください。	-	-
9102	C000238E	異常	監視DLL内でエラーが発生しました。 エラーコード = %1 ライブラリ名 = %2 関数名 = %3	-	-	-	-	-	-	ESMCommonServiceで何らかのエラーが発生したため、いくつかの監視項目が監視できない可能性があります。サービスを再起動してください。同じメッセージが表示される場合、Collect.exeで情報を採取しシステム管理者にご連絡ください。	-	-
9103	C000238F	異常	監視DLLのスレッド内でエラーが発生しました。 エラーコード = %1 エラーアドレス = %2	-	-	-	-	-	-	ESMCommonServiceで何らかのエラーが発生したため、いくつかの監視項目が監視できない可能性があります。サービスを再起動してください。同じメッセージが表示される場合、Collect.exeで情報を採取しシステム管理者にご連絡ください。	-	-
9104	C0002390	異常	通報関数内でエラーが発生しました。 エラーコード = %1 イベントログ種別 = %2 ソース名 = %3 イベントID = %4	-	-	-	-	-	-	ESMCommonServiceで何らかのエラーが発生したため、いくつかの監視項目が監視できない可能性があります。サービスを再起動してください。同じメッセージが表示される場合、Collect.exeで情報を採取しシステム管理者にご連絡ください。	-	-

イベントソース [ESMCpuPerf]

イベントビューア				アラートビューア				通報先(デフォルト)		その他	SNMP Trap OID	
イベントID	イベントID(16進数)	種類	説明	概要	詳細	対処	状態色	マネージャ	エクスプレス通報	備考	Enterprise ID	Specific ID
100	C0000064	異常	CPU %1 の負荷が異常に高くなっています。	システムCPU異常高負荷	CPU全体の負荷率が異常のしきい値を超えました。	【異常】タスクマネージャなどでCPUを占有しているプロセスを特定し原因を取り除いてください。	赤	○	×	システムの負荷が非常に高くなっています。妥当であるかを確認してください。	.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.2.3	3
101	80000065	警告	CPU %1 の異常な負荷は回復しましたが、まだ高い値です。	システムCPU異常高負荷回復	CPU全体の負荷率が異常状態から回復しました。		黄	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.2.3	4
102	80000066	警告	CPU %1 の負荷が高くなっています。	システムCPU高負荷	CPU全体の負荷率が警告のしきい値を超えました。		黄	○	×	システムの負荷が高くなっています。妥当であるかを確認してください。	.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.2.3	1

103	40000067	正常	CPU %1 の負荷が正常な値に戻りました。	システムCPU高負荷回復	CPU全体の負荷率が警告状態から回復しました。		緑	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.2.3	2
104	C0000068	異常	CPU %1 の負荷が異常に高くなっています。	システムCPU異常高負荷	CPU%1 の負荷率が異常のしきい値を超えました。	【異常】タスクマネージャなどでCPUを占有しているプロセスを特定し原因を取り除いてください。	赤	○	×	システムの負荷が非常に高くなっています。妥当であるかを確認してください。	.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.2.3	7
105	80000069	警告	CPU %1 の異常な負荷は回復しましたが、まだ高い値です。	システムCPU異常高負荷回復	CPU%1 の負荷率が異常状態から回復しました。		黄	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.2.3	8
106	8000006A	警告	CPU %1 の負荷が高くなっています。	システムCPU高負荷	CPU%1 の負荷率が警告のしきい値を超えました。		黄	○	×	システムの負荷が高くなっています。妥当であるかを確認してください。	.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.2.3	5
107	4000006B	正常	CPU %1 の負荷が正常な値に戻りました。	システムCPU高負荷回復	CPU%1 の負荷率が警告状態から回復しました。		緑	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.2.3	6
9000	C0002328	異常	CPU監視サービス内でエラーが発生しました。 [%1]	-	-	-	-	-	-	ESMCommonServiceで何らかのエラーが発生したため、いくつかの監視項目が監視できない可能性があります。サービスを再起動してください。同じメッセージが表示される場合、Collect.exeで情報を採取しシステム管理者にご連絡ください。	-	-
9001	80002329	警告	CPU監視サービスで使用するしきい値が不正です。 最小値[%1] 設定値[%2] しきい値に最小値を設定します。	-	-	-	-	-	-	CPU負荷率のしきい値を確認してください。	-	-
9002	8000232A	警告	CPU監視サービスで使用するしきい値が不正です。 最小値[%1] 設定値[%2] しきい値に最大値を設定します。	-	-	-	-	-	-	CPU負荷率のしきい値を確認してください。	-	-
9003	8000232B	警告	CPU監視サービスで使用するしきい値が不正です。 [しきい値の大小関係が不正です。] デフォルト値を使用します。	-	-	-	-	-	-	CPU負荷率のしきい値を確認してください。	-	-
9004	8000232C	警告	CPU監視サービスで警告状態を検出しました。 [%1]	-	-	-	-	-	-	Collect.exeで情報を採取してください。	-	-
9005	4000232D	情報	%1	-	-	-	-	-	-	Collect.exeで情報を採取してください。	-	-

イベントソース [ESMLocalPolling]

イベントビューア				アラートビューア				通報先(デフォルト)			その他		SNMP Trap OID	
イベントID	イベントID(16進数)	種類	説明	概要	詳細	対処	状態色	マネージャ	エクスプレス通報	備考	Enterprise ID	Specific ID		
100	C0000064	異常	監視対象の値が上位異常値を超えました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値上位異常	監視対象の値が上位異常値を超えました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		赤	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	3		
101	80000065	警告	監視対象の値が上位異常値を下回りました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値上位異常回復	監視対象の値が上位異常値を下回りました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		黄	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	4		

102	8000006E	警告	監視対象の値が上位警告値を超えました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値上位警告	監視対象の値が上位警告値を超えました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		黄	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	1
103	40000067	正常	監視対象の値が上位警告値を下回りました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値上位警告回復	監視対象の値が上位警告値を下回りました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		緑	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	2
104	C0000068	異常	監視対象の値が下位異常値を下回りました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値下位異常	監視対象の値が下位異常値を下回りました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		赤	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	8
105	80000069	警告	監視対象の値が下位異常値を超えました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値下位異常回復	監視対象の値が下位異常値を超えました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		黄	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	7
106	8000006A	警告	監視対象の値が下位警告値を下回りました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値下位警告	監視対象の値が下位警告値を下回りました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		黄	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	6
107	4000006B	正常	監視対象の値が下位警告値を超えました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値下位警告回復	監視対象の値が下位警告値を超えました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		緑	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	5
110	C000006E	異常	監視対象の値が上位異常値を超えました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値上位異常	監視対象の値が上位異常値を超えました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		赤	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	11
111	8000006F	警告	監視対象の値が上位異常値を下回りました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値上位異常回復	監視対象の値が上位異常値を下回りました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		黄	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	12
112	80000070	警告	監視対象の値が上位警告値を超えました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値上位警告	監視対象の値が上位警告値を超えました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		黄	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	9
113	40000071	正常	監視対象の値が上位警告値を下回りました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値上位警告回復	監視対象の値が上位警告値を下回りました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		緑	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	10

114	C0000072	異常	監視対象の値が下位異常値を下回りました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値下位異常	監視対象の値が下位異常値を下回りました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		赤	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	16
115	80000073	警告	監視対象の値が下位異常値を超えました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値下位異常回復	監視対象の値が下位異常値を超えました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		黄	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	15
116	80000074	警告	監視対象の値が下位警告値を下回りました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値下位警告	監視対象の値が下位警告値を下回りました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		黄	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	14
117	40000075	正常	監視対象の値が下位警告値を超えました。 Polling ID %1 OID %2 OID Data %3 Threshold %4	監視対象値下位警告回復	監視対象の値が下位警告値を超えました。 オブジェクトID : %2 値 : %3		緑	○	×		.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.19.3	13
900	C0000384	異常	ESMLocalPolling 内でエラーが発生しました。 [%1]	—	—	—	—	—	—	SNMPサービスが正常に動作していることを確認してください。正常に起動している場合はSNMP、ローカルポーリングの設定に問題がないか確認してください。	—	—
901	C0000385	異常	しきい値が誤っています。 Polling ID [%1] Threshold [%2]	—	—	—	—	—	—	ローカルポーリングのしきい値を確認してください。	—	—

ESMLANService

本サービスはネットワーク回線の負荷、障害監視を行います。
本サービスに関するアラートが発生した際には、ネットワーク回線まわりを確認してください。

イベントビューア				アラートビューア				通報先(デフォルト)		その他	SNMP Trap OID	
イベントID	イベントID(16進数)	種類	説明	概要	詳細	対処	状態色	マネージャ	エクスプレス通報	備考	Enterprise ID	Specific ID
301	8000012D	警告	回線障害の可能性があります。デバイス: %1 エラー種別: %2.%3.%4 アライメントエラー数 = %5 FCSエラー数 = %6 キャリアセンスエラー数 = %7	ネットワーク障害	回線障害の可能性があります。デバイス名: %1 エラー種別: %2	本通報が頻繁に登録された場合や、本通報の後にネットワーク状態回復の通報が登録されない場合は、ハードウェア環境(ネットワークケーブルの接続やHUBの電源など)の確認をしてください。本通報が登録されても、ネットワーク状態回復の通報が登録された場合は、特に問題ありません。	黄	○	×	ネットワークケーブルが外れていないか、HUBの電源が入っているかを確認してください。回線上に何らかの障害がある可能性があるためネットワーク環境を確認してください。本通報は、ESMPRO/SA Ver3.8以降は警告で、Ver3.7以前は異常で通報されます。	.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.1.3.3	1
302	8000012E	警告	回線が高負荷状態です。デバイス: %1 エラー種別: %2.%3 送信パケット総数 = %4 遅延衝突数 = %5 単一衝突数 = %6 多重衝突数 = %7 遅延送信数 = %8 超過衝突数 = %9 MAC送信エラー数 = %10	ネットワーク高負荷	回線が高負荷状態です。デバイス名: %1 エラー種別: %2	本通報が頻繁に登録された場合や、本通報の後にネットワーク状態回復の通報が登録されない場合は、サーバへのアクセスを軽減させてください。本通報は、一時的な高負荷であっても登録されますので、直ぐに回復する場合(ネットワーク状態回復の通報が登録された場合)は、特に問題ありません。また、LAN監視間隔を大きくしたり、監視のしきい値を高くすることによって、本通報を減らすことができます(通報を減らすだけで、回線の負荷が軽くなった訳ではありません)。	黄	○	×	サーバへのアクセスを軽減させ、負荷を緩和してください。	.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.1.3.3	2
303	8000012F	警告	サーバ資源不足の可能性があります。受信パケット総数 = %1 受信破棄パケット数 = %2 送信パケット総数 = %3 送信破棄パケット数 = %4	ネットワーク送受信バッファ不足	サーバのネットワーク送受信バッファが不足している可能性があります。	サーバの送受信が高負荷状態の可能性がります。サーバへのアクセスを軽減させてください。	黄	○	×	サーバへのアクセスを軽減させ、負荷を緩和してください。	.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.1.3.3	3
305	40000131	正常	次の障害から通常状態に戻りました。デバイス: %1 障害イベントID: %2.%3.%4	ネットワーク状態回復	ネットワークが以下の障害から回復しました。デバイス名: %1 エラー種別: %2		緑	○	×	回線状態が通常状態に復帰しました。	.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.1.3.3	4
399	4000018F	正常	ESMLANService 情報 - %1	-	-	-	-	-	-	%1の部分に“Memory allocation failed.”という文字列が表示されている場合は、メモリの空き状況を確認してください。“SNMP Service is not started.”或いは“SNMP Service does not accept a request.”が表示されている場合は、SNMPサービスの動作状況を確認してください。	-	-

AlertManagerMainService

本サービスは障害通報を行うサービスです。
本サービスに関するイベントが発生した際には、通報まわりの設定を確認してください。

イベントビューア				アラートビューア				通報先(デフォルト)		その他	SNMP Trap OID	
イベントID	イベントID(16進)	種類	説明	概要	詳細	対処	状態色	マネージャ	エクスプレス通報	備考	Enterprise ID	Specific ID
100	40000064	正常	通報対象%n イベントソース名: %3%n イベントID:(%4) %5%n 時刻: %6 %n %n 通報先 %1 への通報は正常終了しました。%n %2%n	—	—	—	—	×	×	リトライをしていた通報が正常に終了しました。	—	—
101	40000065	正常	通報対象%n イベントソース名: %3%n イベントID:(%4) %5%n 時刻: %6 %n %n 通報先 %1 への通報は異常終了しました。%n %2%n	—	—	—	—	×	×	通報手段の設定に問題がある可能性があります。基本設定、通報先IDの設定を確認してください。	—	—
102	40000066	正常	通報対象%n イベントソース名: %3%n イベントID:(%4) %5%n 時刻: %6 %n %n 通報先 %1 への通報は異常終了しました。リトライします。%n %2%n	—	—	—	—	×	×	通報が出来ませんでした。通報先IDのスケジュール設定のリトライ間隔で設定した時間が経過後、通報をリトライします。	—	—
103	80000067	警告	通報対象%n イベントソース名: %3%n イベントID:(%4) %5%n 時刻: %6 %n %n 通報先 %1 への通報要求を削除します。%n %2%n	—	—	—	—	×	×	リトライ時間を過ぎても通報できなかったため、要求を削除します。通報手段の設定に問題があるかもしれないので、基本設定、通報先IDの設定を確認してください。	—	—
104	C0000068	異常	通報対象%n サマリ: %1%n 時刻: %2 %n %n アラート登録中にエラーが発生したため通報できませんでした。%n %3%n	—	—	—	—	×	×	サービス内部でエラーが発生しました。Collect(m).exeで情報を採取してください。	—	—
900	C0000384	異常	致命的なエラーが発生しました。サービスを停止します。%n %1%n	—	—	—	—	×	×	サービス内部でエラーが発生しました。Collect(m).exeで情報を採取してください。	—	—
901	80000385	警告	%1の起動に失敗しました%n	—	—	—	—	×	×	Collect(m).exeで情報を採取してください。	—	—

802	40000322	正常	%1ログ監視中に過去のイベントを検知しました。以下の原因が考えられます。%n - システム時刻が変更された。%n - シャットダウンが正常に行われなかった。%n - イベントログファイルが壊れている。	イベントログ監視警告	%1ログ監視中に過去のイベントを検知しました。以下の原因が考えられます。%n - システム時刻が変更された。%n - シャットダウンが正常に行われなかった。%n - イベントログファイルが壊れている。	以下を確認してください。%nシステム時刻が変更された場合は、レジストリ: HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥NECYESMAlertMan¥AMMNEVキー内にある"イベントログの名前Time"の値を全て0に再設定して下さい。%n%自動電源断を行っている場合は、電源断の設定時間をOSが正常に終了できるように再設定して下さい。%n%この通報が頻繁に登録される場合は、イベントログが壊れている可能性があります。該当ログを一度削除してログを復旧後AlertManagerMainServiceを再起動してください。	緑	○	×	—	.1.3.6.1.4.1.1 19.2.2.4.4.18 .3	1
803	C0000323	異常	イベントログの読み込みに失敗しました。%1ログの監視を停止します。%n次のコードはエラー情報です。(%2)%n	イベントログ監視エラー	イベントログの読み込みに失敗しました。%1ログの監視を停止します。%n次のコードはエラー情報です。(%2)%n	—	赤	○	×	サービス内部でエラーが発生しました。Collect(m).exeで情報を採取してください。	.1.3.6.1.4.1.1 19.2.2.4.4.18 .3	1
1000	400003E8	正常	通報イベント発生により%1秒後にシャットダウン・リポートします。%n	シャットダウン・リポート実行	通報イベント発生により%1秒後にシャットダウン・リポートします。%n	—	緑	○	×	通報後動作がシャットダウン・リポートであるイベントが発生しました。	.1.3.6.1.4.1.1 19.2.2.4.4.18 .3	1
1001	400003E9	正常	ユーザによりシャットダウン・リポートがキャンセルされました。%n	シャットダウン・リポートキャンセル	ユーザによりシャットダウン・リポートがキャンセルされました。%n	—	緑	○	×	通報後動作がシャットダウン・リポートであるイベントが発生しましたが、使用者によりシャットダウン・リポートがキャンセルされました。	.1.3.6.1.4.1.1 19.2.2.4.4.18 .3	1
1100	C000044C	異常	Channel %1 の購読において、致命的なエラーが発生したため、このChannelの監視を停止しました。%nエラーコードは:%2%n	—	—	—	—	×	×	サービス内部でエラーが発生しました。Collect(m).exeで情報を採取してください。	—	—
1101	8000044D	警告	Channel %1 の購読ができないため、このChannelの監視を一旦停止しました。%nエラーコードは:%2%n	—	—	—	—	×	×	サービス内部でエラーが発生しました。Collect(m).exeで情報を採取してください。	—	—
1102	4000044E	正常	Channel %1 の購読が成功したため、このChannelの監視は回復しました。%n	—	—	—	—	×	×	—	—	—

ユーザ定義など

- ・使用者が手動でイベントログ監視対象に設定したもの
- ・他製品が通報連携によりアドオンしたもの

イベントビューア				アラートビューア				通報先(デフォルト)		その他	SNMP Trap OID	
イベントID	イベントID(16進数)	種類	説明	概要	詳細	対処	状態色	マネージャ	エクスプレス通報	備考	Enterprise ID	Specific ID
使用者定義	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.18.3	1
他製品アドオン	—	—	—	—	—	—	—	製品に依存	製品に依存	—	.1.3.6.1.4.1.119.2.2.4.4.18.3	1